

#### 概要

MAX3311E/MAX3313Eは、低電力の5V EIA/TIA-232 コンパチブルトランシーバです。全てのトランスミッタ出力及びレシーバ入力は、ヒューマンボディモデルを使用して±15kVまで保護されているため、MAX3311E/MAX3313Eは非常に頑丈なトランシーバを必要とするアプリケーションに最適です。

これらのデバイスはいずれも、トランスミッタ及びレシーバを1つずつ備えています。トランスミッタはマキシム社独自の低ドロップアウトトランスミッタ出力段を備えており、単一の反転チャージポンプ付+5Vの電源でRS-232コンパチブルの動作を可能にしています。これらのトランシーバは僅か3個の0.1µFコンデンサしか必要とせず、RS-232コンパチブルの出力レベルを維持しつつ、最高460kbpsのデータレートで動作します。

MAX3311Eは1μAのシャットダウンモードを備えています。シャットダウン中チャージポンプはオフになり、V-はグランドに引き下げられ、トランスミッタ出力はディセーブルされます。MAX3313EはINVALID出力も備えています。この出力は、アクティブなRS-232ケーブル信号が接続されている時にハイになり、周辺装置が通信ポートに接続されていることをホストに伝えます。

#### 特長

- ◆ RS-232コンパチブルI/OピンのESD保護
- ◆ ±15kV/ヒューマンボディモデル
- ◆ 1µAの低電力シャットダウン(MAX3311E)
- ◆ INVALID出力(MAX3313E)
- ◆ レシーバはシャットダウン中もアクティブ (MAX3311E)
- ◆ 10ピンμMAXパッケージのシングルトランシーバ (1Tx/1Rx)

#### 型番

PART	TEMP. RANGE	PIN-PACKAGE
MAX3311ECUB	0°C to +70°C	10 μMAX
MAX3311EEUB	-40°C to +85°C	10 μMAX
MAX3313ECUB	0°C to +70°C	10 μMAX
MAX3313EEUB	-40°C to +85°C	10 μMAX

#### アプリケーション\_

ディジタルカメラ

**PDA** 

GPS

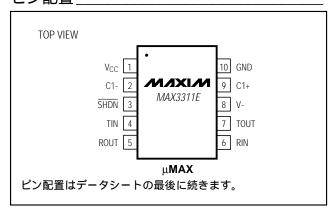
POS

テレコム通信機

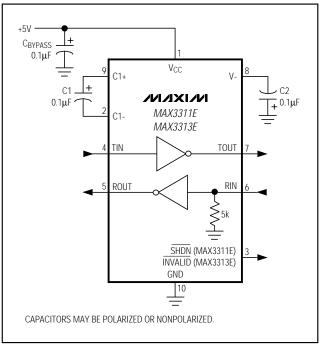
ハンディ端末

セットトップボックス

### ピン配置



#### 標準動作回路



#### NIXIN

Maxim Integrated Products 1

本データシートに記載された内容は、英語によるマキシム社の公式なデータシートを翻訳したものです。翻訳により生じる相違及び誤りについての責任は負いかねます。正確な内容の把握にはマキシム社の英語のデータシートをご参照下さい。

#### **ABSOLUTE MAXIMUM RATINGS**

V <sub>CC</sub> to GND	0.3V to +6V
V- to GND	+0.3V to -7V
V <sub>CC</sub> +  V-	+13V
Input Voltages	
TIN, SHON to GND	0.3V to +6V
RIN to GND	±25V
Output Voltages	
TOUT to GND	±13.2V
ROUT, INVALID to GND	0.3V to $(V_{CC} + 0.3V)$
Short-Circuit Duration	
TOUT to GND	Continuous

Continuous Power Dissipation 10-Pin µMAX (derate 5.6mW/°C operating Temperature Ranges	above +70°C)444mW
MAX331_ECUB MAX331_EEUB Junction Temperature	40°C to +85°C
Storage Temperature Range Lead Temperature (soldering, 10s)	65°C to +150°C +300°C

Stresses beyond those listed under "Absolute Maximum Ratings" may cause permanent damage to the device. These are stress ratings only, and functional operation of the device at these or any other conditions beyond those indicated in the operational sections of the specifications is not implied. Exposure to absolute maximum rating conditions for extended periods may affect device reliability.

#### **ELECTRICAL CHARACTERISTICS**

(V<sub>CC</sub> = +5V, C1 and C2 = 0.1 $\mu$ F, T<sub>A</sub> = T<sub>MIN</sub> to T<sub>MAX</sub>. Typical values are at T<sub>A</sub> = +25 $^{\circ}$ C.)

PARAMETER	SYMBOL	CONDITIONS	MIN	TYP	MAX	UNITS
DC CHARACTERISTICS	•		<u>.</u>			•
Supply Operation Range	Vcc		4.5	5	5.5	V
Supply Current		SHDN = V <sub>CC</sub> , no load		100	250	μΑ
Shutdown Supply Current		SHDN = GND (MAX3311E only)		1	10	μА
LOGIC INPUTS (TIN, SHDN)						
Input Logic Threshold Low	VIL		0.8			V
Input Logic Threshold High	VIH				2.4	V
Transmitter Input Hysteresis				0.5		V
Input Leakage Current				±0.01	±1	μΑ
RECEIVER OUTPUT						
Output Voltage Low	V <sub>OL</sub>	I <sub>OUT</sub> = 1.6mA			0.4	V
Output Voltage High	V <sub>OH</sub>	I <sub>OUT</sub> = -1.0mA	V <sub>CC</sub> - 0.6	V <sub>CC</sub> - 0.1		V
INVALID OUTPUT (MAX3313E	only)		<b>'</b>			
Receiver Input Threshold to		Figure 7, positive threshold			2.7	
INVALID Output High		Figure 7, negative threshold	-2.7	-2.7		V
Receiver Input Threshold to INVALID Output Low		Figure 7	-0.3		0.3	V
INVALID Output Low	V <sub>OL</sub>	I <sub>OUT</sub> = 1.6mA			0.4	V
INVALID Output High	VoH	I <sub>OUT</sub> = -1.0mA	V <sub>CC</sub> - 0.6			V
Receiver Positive or Negative Thresholds to INVALID High		Figure 7		0.1		μs
Receiver Positive or Negative Threshold to INVALID Low		Figure 7		30		μs

#### **ELECTRICAL CHARACTERISTICS (continued)**

( $V_{CC} = +5V$ , C1 and C2 = 0.1 $\mu$ F,  $T_A = T_{MIN}$  to  $T_{MAX}$ . Typical values are at  $T_A = +25$ °C.)

PARAMETER	SYMBOL	CONDITIONS	MIN	TYP	MAX	UNITS
RECEIVER INPUT						
Input Threshold Low	VIL		0.8			V
Input Threshold High	V <sub>IH</sub>				2.4	V
Input Hysteresis				0.5		V
Input Resistance				5		kΩ
TRANSMITTER OUTPUT						,
Output Voltage Swing		Transmitter output loaded with $3k\Omega$ to	±3.7			V
Output Resistance (Note 1)		V <sub>CC</sub> = 0, transmitter output = ±2V	300			Ω
Output Short-Circuit Current					±60	mA
Output Leakage Current		V <sub>OUT</sub> = ±12V, transmitter disabled			±25	μΑ
ESD PERFORMANCE (TRANSM	IITTER OUTI	PUT, RECEIVER INPUT)		•	•	
ESD-Protection Voltage		Human Body Model		±15		kV

**Note 1:** Not tested—guaranteed by design.

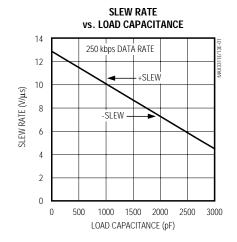
#### **TIMING CHARACTERISTICS**

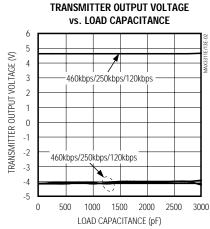
(V<sub>CC</sub> = +5V, C1 and C2 = 0.1 $\mu$ F, T<sub>A</sub> = T<sub>MIN</sub> to T<sub>MAX</sub>. Typical values are at T<sub>A</sub> = +25°C.)

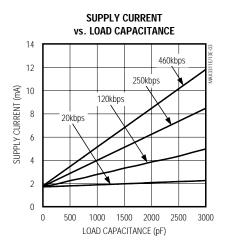
PARAMETER SYMBOL CONDITIONS		MIN	TYP	MAX	UNITS	
Maximum Data Rate		$R_L = 3k\Omega$ , $C_L = 1000pF$	460			kbps
Receiver Propagation Delay	t <sub>PLH</sub> /t <sub>PHL</sub>	Receiver input to receiver output,  C <sub>L</sub> = 150pF	0.15		μs	
Transmitter Skew	N .			100		ns
Receiver Skew				50		ns
Transition Region Slew Rate		$R_L = 3k\Omega$ to $7k\Omega$ , $C_L = 150pF$ to 1000pF, measured from +3V to -3V or from -3V to +3V		11		V/µs

#### 標準動作特性

 $(V_{CC} = +5V, 0.1 \mu F \text{ capacitors, transmitter loaded with } 3k\Omega \text{ and } C_L, T_A = +25^{\circ}C, \text{ unless otherwise noted.})$ 







#### 端子説明

端	子	なね	+₩± Δ+*	
MAX3311E	MAX3313E	<b>名</b> 称	機能	
1	1	V <sub>CC</sub>	+5Vの外部電源。0.1μFのコンデンサでグラウンドにデカップリングします。	
2	2	C1-	電圧反転チャージポンプコンデンサの負端子	
3	_	SHDN	シャットダウンアクティブロー(0 = オフ、1 = オン)	
_	3	INVALID	有効信号ディテクタ出力、アクティブロー。これがロジックハイの時は、有効な RS-232レベルがレシーバ入力に存在することを意味します。	
4	4	TIN	TTL/CMOSトランスミッタ入力	
5	5	ROUT	TTL/CMOSレシーバ出力	
6	6	RIN	±15kV ESD保護、RS-232レシーバ入力	
7	7	TOUT	± 15kV ESD保護、RS-232コンパチブルトランスミッタ出力	
8	8	V-	チャージポンプが生成する-4.3Vの電圧。0.1µFのコンデンサでグランドに接続します。	
9	9	C1+	電圧インバータチャージポンプコンデンサの正端子	
10	10	GND	グランド	

詳細

#### 単一チャージポンプ電圧コンバータ

MAX3311E/MAX3313Eの内部電源は単一反転チャージポンプを備えており、+5Vの単一電源から負電圧を提供します。チャージポンプは断続モードで動作し、V-電源を生成するためのフライングコンデンサ(C1)及びタンクコンデンサ(C2)を必要とします。

#### RS-232コンパチブルドライバ

このトランスミッタは、CMOSロジックレベルを EIA/TIA-232コンパチブルレベルに変換する反転レベルトランスレータです。3k /1000pFの最悪負荷条件において、最高460kbpsのデータレートが保証されています。SHDNをローに駆動するとトランスミッタはディセーブルされ、スリーステートになります。トランスミッタの入力に内部プルアップ抵抗はありません。

#### RS-232レシーバ

MAX3311E/MAX3313Eのレシーバは、RS-232信号を C M O S の ロ ジ ッ ク 出 力 レ ベ ル に 変 換 し ま す 。 MAX3311Eのレシーバはシャットダウン中アクティブに 留まります。 MAX3313Eの $\overline{\text{INVALID}}$ は、RS-232信号が レシーバ入力に存在すること、即ちポートが使用中で あることを示します。

MAX3313EのINVALID出力は、有効なRS-232信号 レベルがレシーバの入力で検出されない時にローに 引き下げられます。

#### MAX3311Eのシャットダウンモード

シャットダウンモードではチャージポンプがターンオフされ、V-はグランドに引き下げられ、トランスミッタ出力はディセーブルされます(表1)。これにより消費電流は $1\mu A(typ)$ に低減します。シャットダウンを解除するのに必要な時間は25ms以下です。

#### アプリケーション情報

#### コンデンサの選択

C1及びC2に使用するコンデンサの種類は回路動作にそれほど影響がなく、有極性又は無極性コンデンサのどちらでも使用できます。有極性コンデンサを使用する場合は、「標準動作回路」に示すように極性を接続して下さい。チャージポンプは0.1µFのコンデンサを必要と

#### 表1. MAX3311Eのシャットダウンロジック 真理値表

SHDN	TRANSMITTER OUTPUT	RECEIVER OUTPUT	CHARGE PUMP	
L	High Z	Active	Inactive	
Н	Active	Active	Active	

します。コンデンサ容量を増加(例えば2倍に)すると消費電力は低減します。C1の値を変更せずにC2を大きくすることは可能ですが、適切な容量比(C1対他のコンデンサ)を維持するために、必ずC2及びCBYPASSの値も共に大きくして下さい。

推奨される容量の最小値0.1μFのコンデンサを使用する場合は、容量が温度変化によって過度に低減しないように注意して下さい。それが懸念される場合は、更に公称容量値の大きいコンデンサを使用して下さい。コンデンサの等価直列抵抗(ESR)は通常低温度において増加し、V-上のリップル電圧に影響を与えます。

V-における出力インピーダンスを低減するには、より 大きなコンデンサ(10µFまで)を使用します。

 $V_{CC}$ は少なくとも $0.1\mu$ Fのコンデンサでグランドにバイパスします。チャージポンプにより生成される電源ノイズに敏感なアプリケーションでは、チャージポンプのコンデンサC1及びC2と同じかそれ以上のコンデンサを使用して、 $V_{CC}$ をグランドにデカップリングして下さい。

#### シャットダウン解除時のトランスミッタ出力

図1に、シャットダウンモード解除時におけるトランスミッタ出力の変化を示します。トランスミッタの負荷条件は3k /1000pFです。MAX3311Eのシャットダウン解除時に、トランスミッタ出力がリンギングや望ましくない変動を示すことはありません。トランスミッタは、V-が約-3Vを超えるまでイネープルされないことに注意して下さい。

#### 高速データレート

MAX3311E/MAX3313Eは、高速データレートにおいてもRS-232コンパチブルトランスミッタの最低出力電圧±3.7Vを維持します。図2に、トランスミッタの

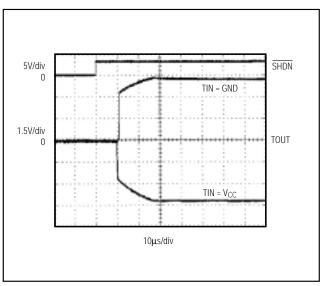


図1. シャットダウン解除時又はパワーアップ時の トランスミッタ出力

ループバック試験回路を示します。図3には120kbpsにおけるループバック試験の結果を示し、図4には同試験を250kbpsで行った結果を示します。

#### ±15kV ESD保護

マキシム社のデバイスには、全てのピンにESD保護構造が組み込まれており、製品の取扱い及び組立時にピンをESDから保護します。MAX3311E/MAX3313Eのドライバ出力とレシーバ入力は、特に静電気に対する保護が強化されています。マキシム社は、±15kVのESDにもダメージを受けない新構造を開発しました。このESD保護構造は、通常動作、シャットダウン及びパワーダウンのいずれの状態においても高ESDに耐える

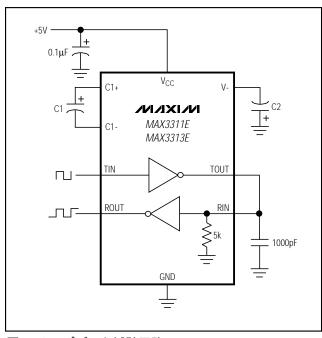


図2. ループバック試験回路

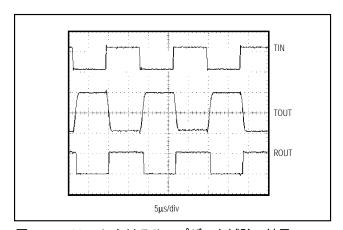


図3. 120kbpsにおけるループバック試験の結果

ことができます。マキシム社のEバージョンは、ESD 事象の発生後もラッチアップすることなく動作し続け ますが、競合他社の製品はラッチすることがあり、その ラッチアップを除去するにはパワーダウンが必要と なります。

ESD保護は様々な方法で試験できます。この製品シリーズのトランスミッタ出力とレシーバ入力は、ヒューマンボディモデルを使用して±15kVまでの保護を提供することが実証されています。

#### ESD試験の条件

ESD保護の性能は様々な条件に依存します。試験のセットアップ、方法論及び結果を文書化した信頼性レポートについては、お問い合わせ下さい。

#### ヒューマンボディモデル

図5にヒューマンボディモデル法を示し、図6には低インピーダンスの負荷に放電した場合にヒューマンボディモデルが生成する電流波形を示します。このモデルでは、測定するESD電圧まで充電された100pFのコンデンサを使用しています。この電圧は、1.5k の抵抗を通じて試験デバイスに放電されます。

#### マシンモデル

マシンモデルによるESD試験では、充電コンデンサを200pFに、放電抵抗をゼロにして全てのピンを試験します。試験の目的は、製造中の取扱い及び組立時の接触によるストレスを模倣することです。もちろん製造中は、RS-232の入出力ピンだけでなく、全てのピンをこのように保護する必要があります。従って、プリント基板組立後のI/Oポートには、マシンモデルは適していません。

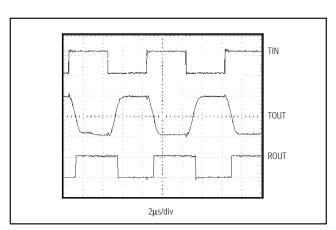


図4. 250kbpsにおけるループバック試験の結果

# *MAX3311E/MAX3313E*

# ±15kV ESD**保護、**460kbps、1**µ**A、 RS-232**コンパチブルトランシーバ、µ**MAX**パッケージ**

#### R<sub>D</sub> 1500**Ω** 1ΜΩ DISCHARGE CHARGE-CURRENT LIMIT RESISTOR RESISTANCE HIGH-DEVICE C<sub>S</sub> 100pF STORAGE VOLTAGE UNDER CAPACITOR DC TEST SOURCE

図5. ヒューマンボディESD試験モデル

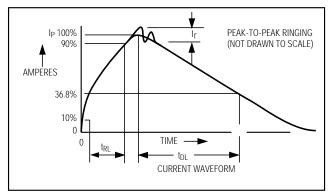


図6. ヒューマンボディの電流波形

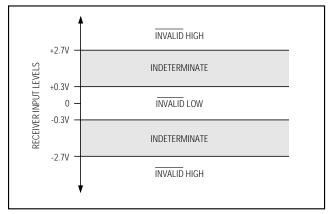
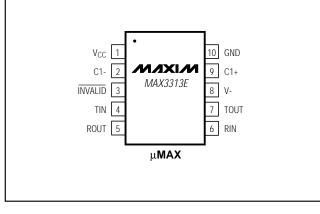


図7. INVALIDに対するレシーバの正/負スレッショルド

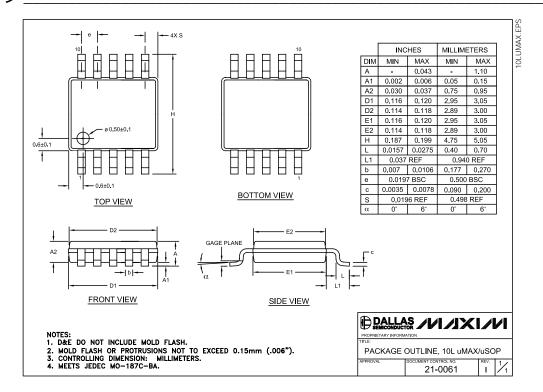
#### ピン配置(続き) V<sub>CC</sub> 1 10 GND MAXIM 9 C1+ C1- 2



チップ情報

**TRANSISTOR COUNT: 278** 

パッケージ



販売代理店		

# マキシム・ジャパン株式会社

〒169-0051東京都新宿区西早稲田3-30-16(ホリゾン1ビル) TEL. (03)3232-6141 FAX. (03)3232-6149

マキシム社では全体がマキシム社製品で実現されている回路以外の回路の使用については責任を持ちません。回路特許ライセンスは明言されていません。マキシム社は随時予告なしに回路及び仕様を変更する権利を保留します。

8 \_\_\_\_\_\_Maxim Integrated Products, 120 San Gabriel Drive, Sunnyvale, CA 94086 408-737-7600